

# トウサワトラノオ案内看板

## トウサワトラノオ保全地

トウサワトラノオの花



### トウサワトラノオの名前の由来

トウサワトラノオはサクラソウ科の多年草植物で、長さ20～40センチ程度の茎を持ち、湿地に群生しています。5～6月にかけて、大きさ1センチ程度の小さな白い花を咲かせます。中国で多く生息することから、同国を意味する「トウ」(唐)と湿地を表す「サワ」、さらに花の咲き方が「虎の尾」に似ており、この名が名付けられたとされています。

トウサワトラノオは県内では絶滅したとされていた多年草で、環境省のレッドデータブックでも最高ランクの絶滅危惧種に指定されています。全国でもこの下野市を含めて2ヶ所(他に愛知県)しか生育地はなく、希少性は極めて高いとされています。

このトウサワトラノオの群生地は、2007年6月に県が実施した江川・五千石地区ほ場整備事業の生態系調査で50年ぶりに発見されたもので、この貴重な植物を保全するため、ほ場整備事業と併せて保全地整備を行いました。



### (施設概要)

- ・所在地 下野市東根
- ・保全地面積 A=3,000m<sup>2</sup>
- ・竣工年月 平成23年3月

**貴重な植物を皆んなで守りましょう！**

下野市